

新型コロナを受けた 葬儀の意識調査 結果

2020/10/15

広報担当

よりそう

調査サマリー – 全体結果より

- 葬儀への参列意向は、新型コロナ前→流行中→現在とV字を描く
 - 血縁関係のない人の葬儀への参列意向は回復が緩やか
- 新型コロナをきっかけに一日葬への関心が上昇
- 従来の小規模化の波に新型コロナが影響を加えていることがデータでも表面化
 - 新型コロナ報道をきっかけに小規模葬の存在を知った人が15%存在
- 感染対策として「参列者のコントロール」をあげる人がそれぞれ5割以上
 - 感染対策として儀式時間の短縮を選ぶ人は3割程度にとどまる
- 告別式の実施は不可欠と考える人は約7割、通夜が不可欠と考える人は約5割
 - 幅広い層の参列が不可欠と考える人は1割にとどまる
- 最少人数での葬儀をあげたい人は、火葬式にしたい人の約3倍

調査概要

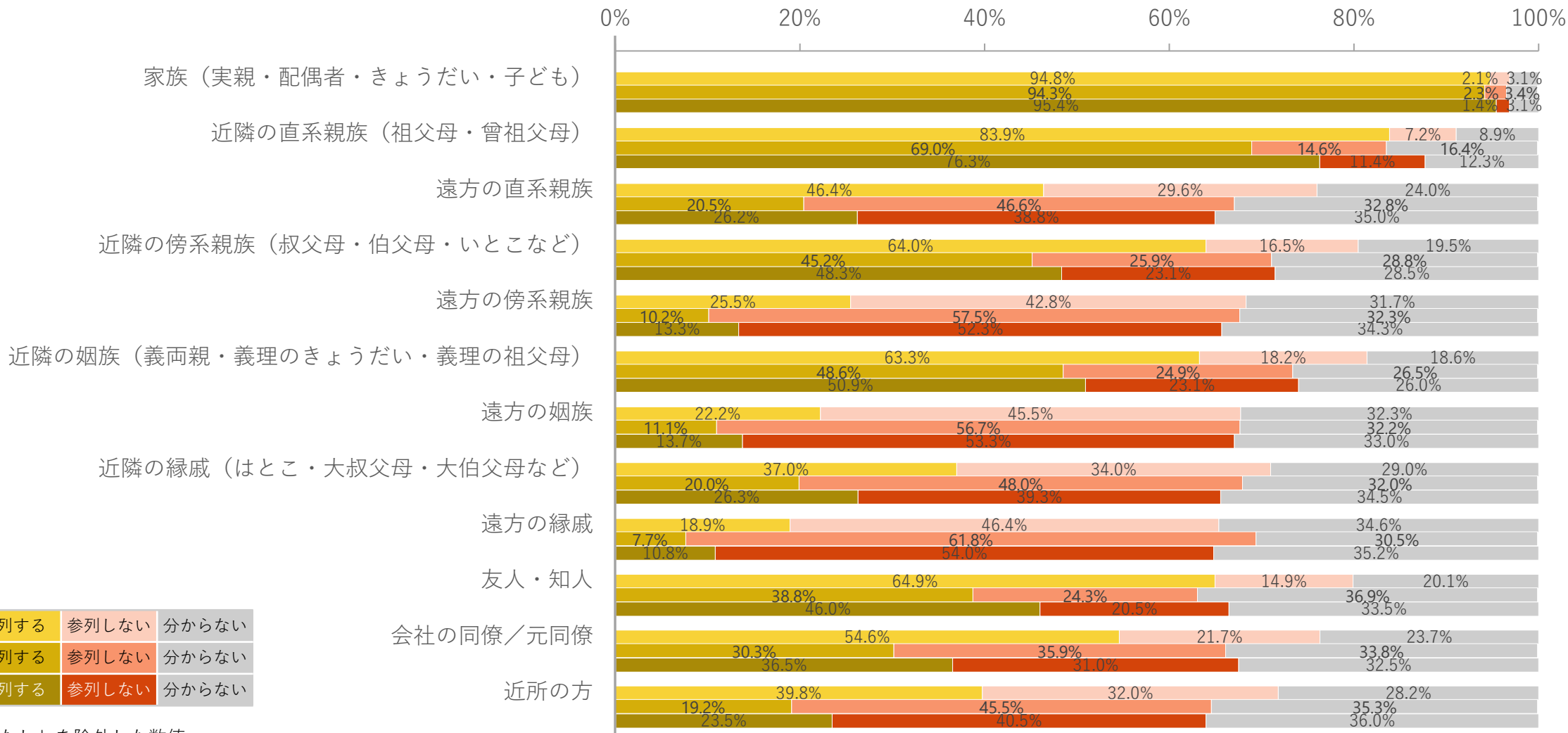
- 調査名：新型コロナを受けた葬儀の意識調査
- 実施期間：2020年9月18日～23日
- 対象者：今後両親の葬儀を実施する立場にある40代以上の男女
- 対象者数：724人
- 調査方法：インターネット調査
- 調査主体：よりそう

調査結果詳細：全体

参列に対する意識変化※1

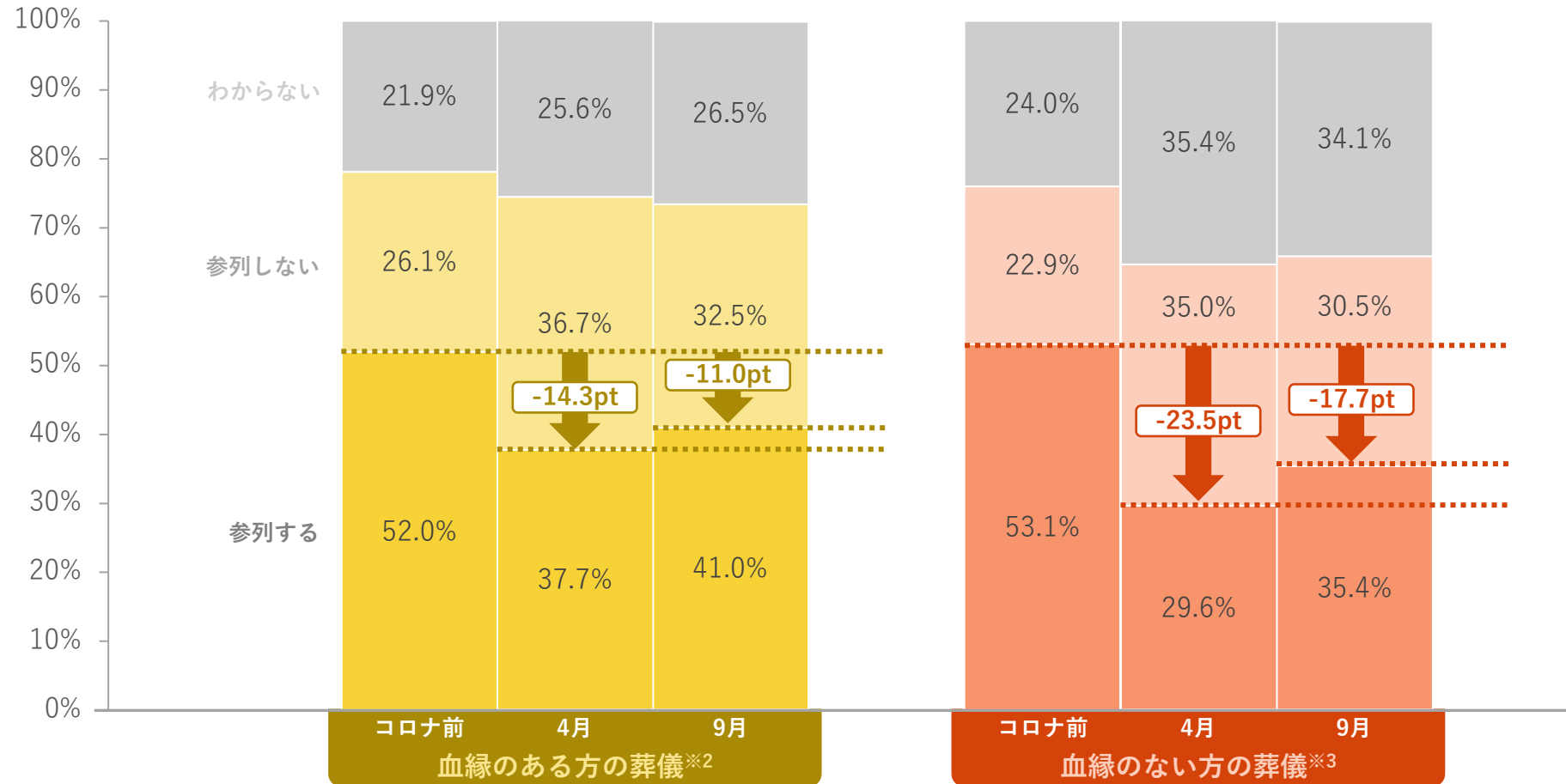
コロナ前	参列する	参列しない	分からない
4月	参列する	参列しない	分からない
9月	参列する	参列しない	分からない

※「該当者なし」を除外した数値



参列に対する意識変化※1 -関係性分類後の比較

よりそう

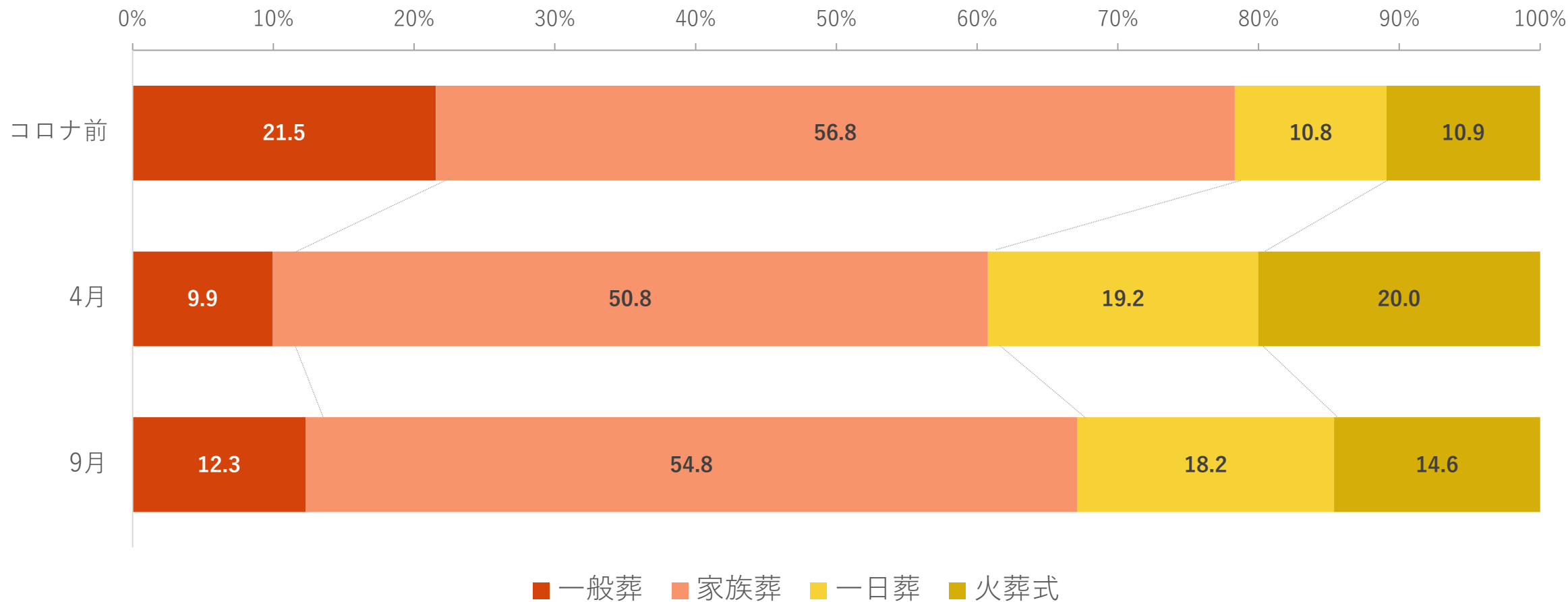


※1: 「該当者なし」を除外した割合

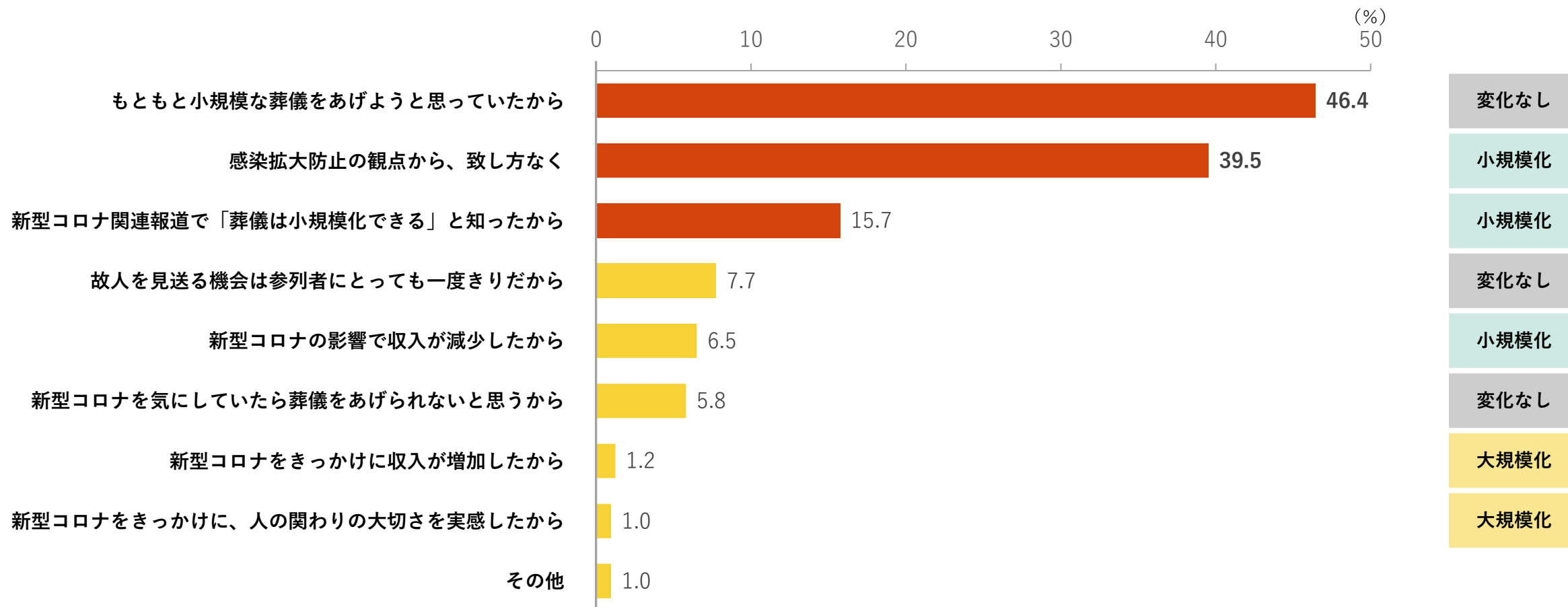
※2: 家族(実親・配偶者・きょうだい・子ども) / 近隣の直系親族(祖父母・曾祖父母) / 遠方の直系親族 / 近隣の傍系親族(叔父母・伯父母・いとこなど) / 遠方の傍系親族 / 近隣の姻族(義両親・義理のきょうだい・義理の祖父母) / 遠方の姻族 / 近隣の縁戚(はとこ・大叔父母・大伯父母など) / 遠方の縁戚 に関する質問を総和し、割合に換算したもの

※3: 友人・知人 / 会社の同僚・元同僚 / 近所の方 に関する質問を総和し、割合に換算したもの

葬儀の意向 (n=724)

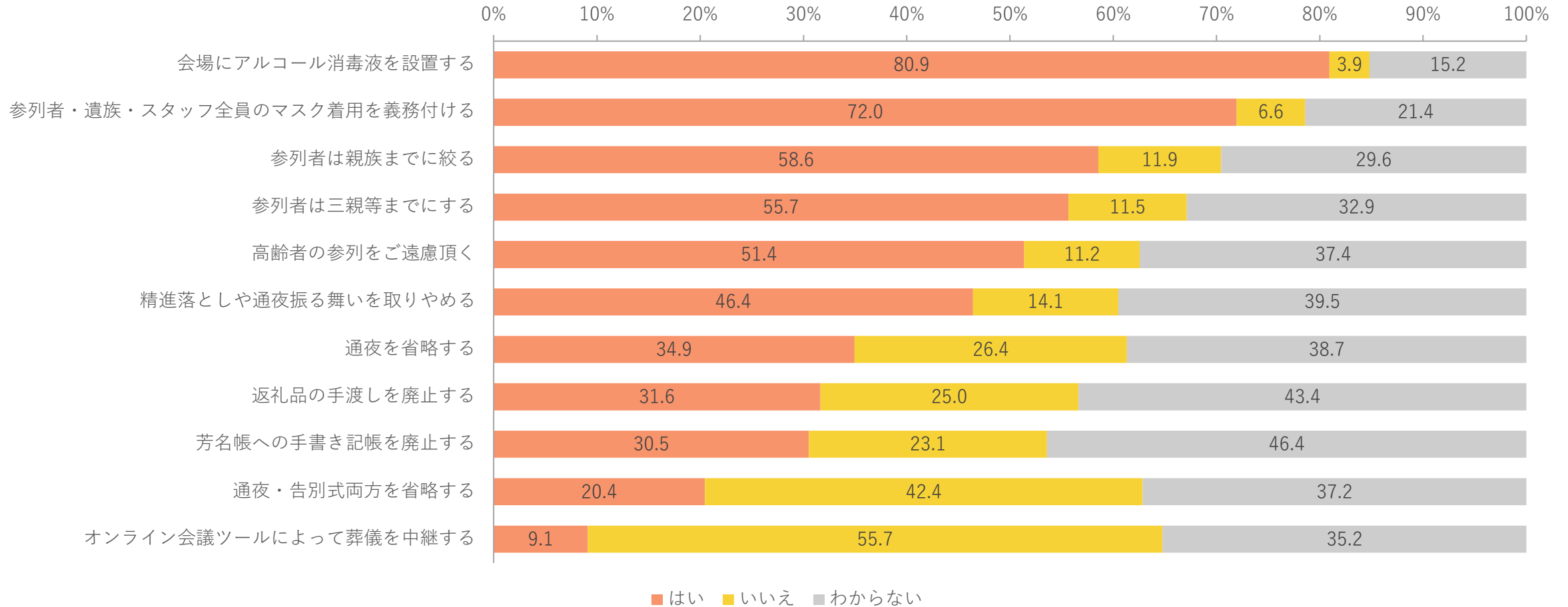


葬儀形式の意向変化



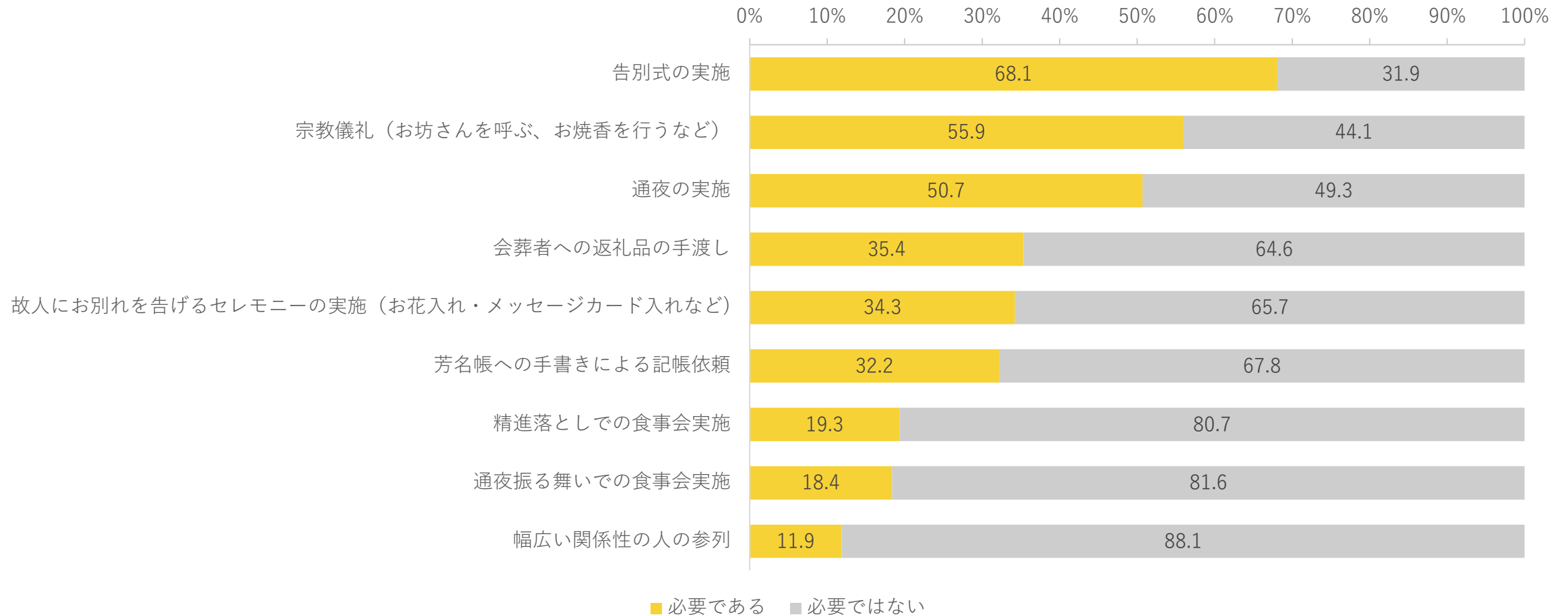
葬儀をあげる際の感染対策で実施すること

よりそう



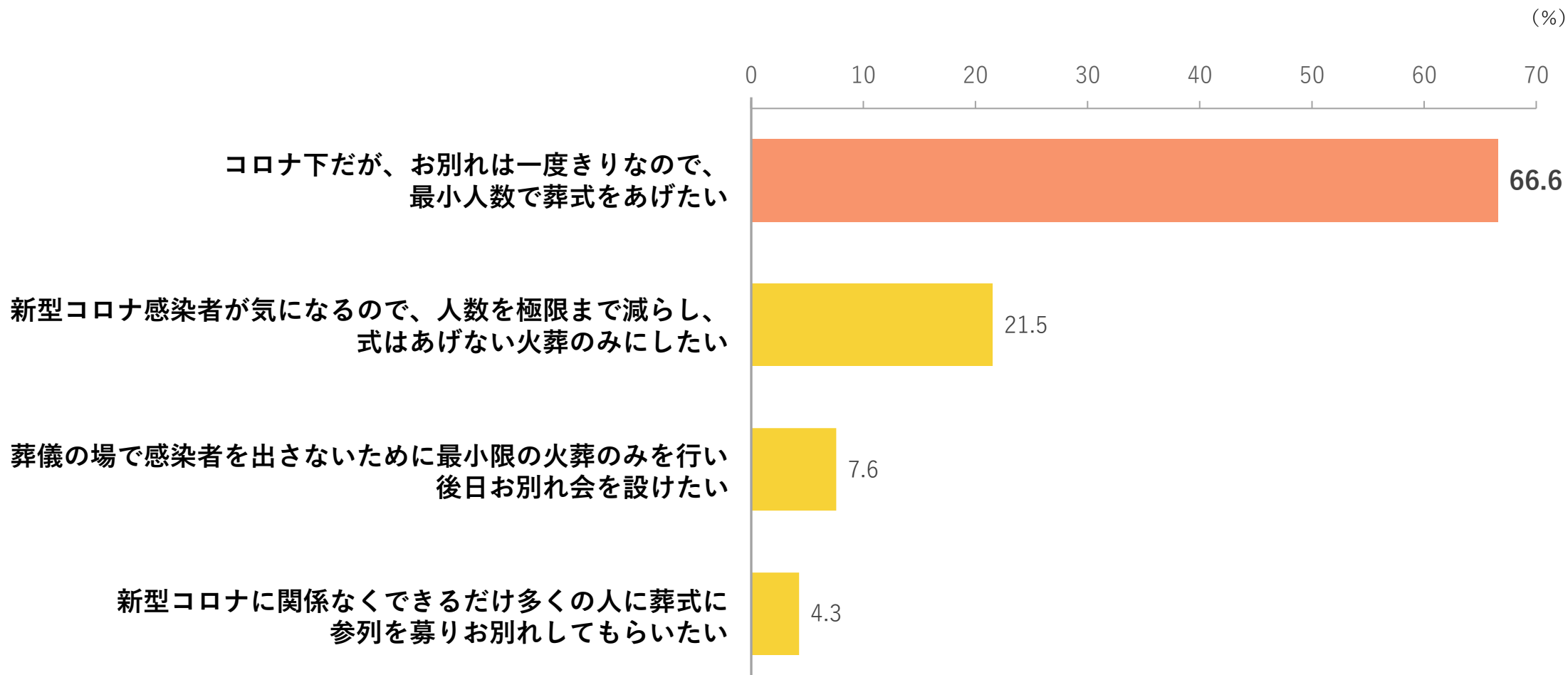
コロナの感染可能性を 考慮しても必要不可欠なもの

よりそう



今後の葬儀に対する考え

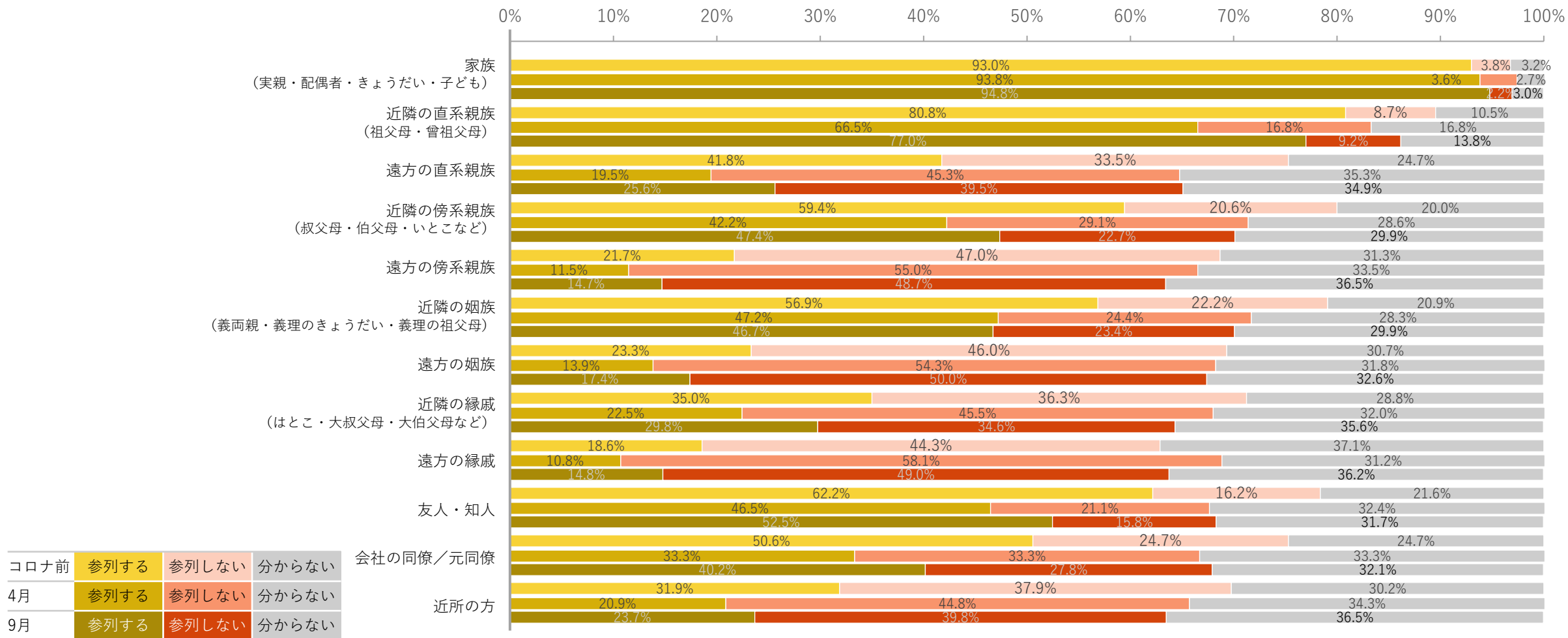
よりそう



調查結果詳細：年齡別

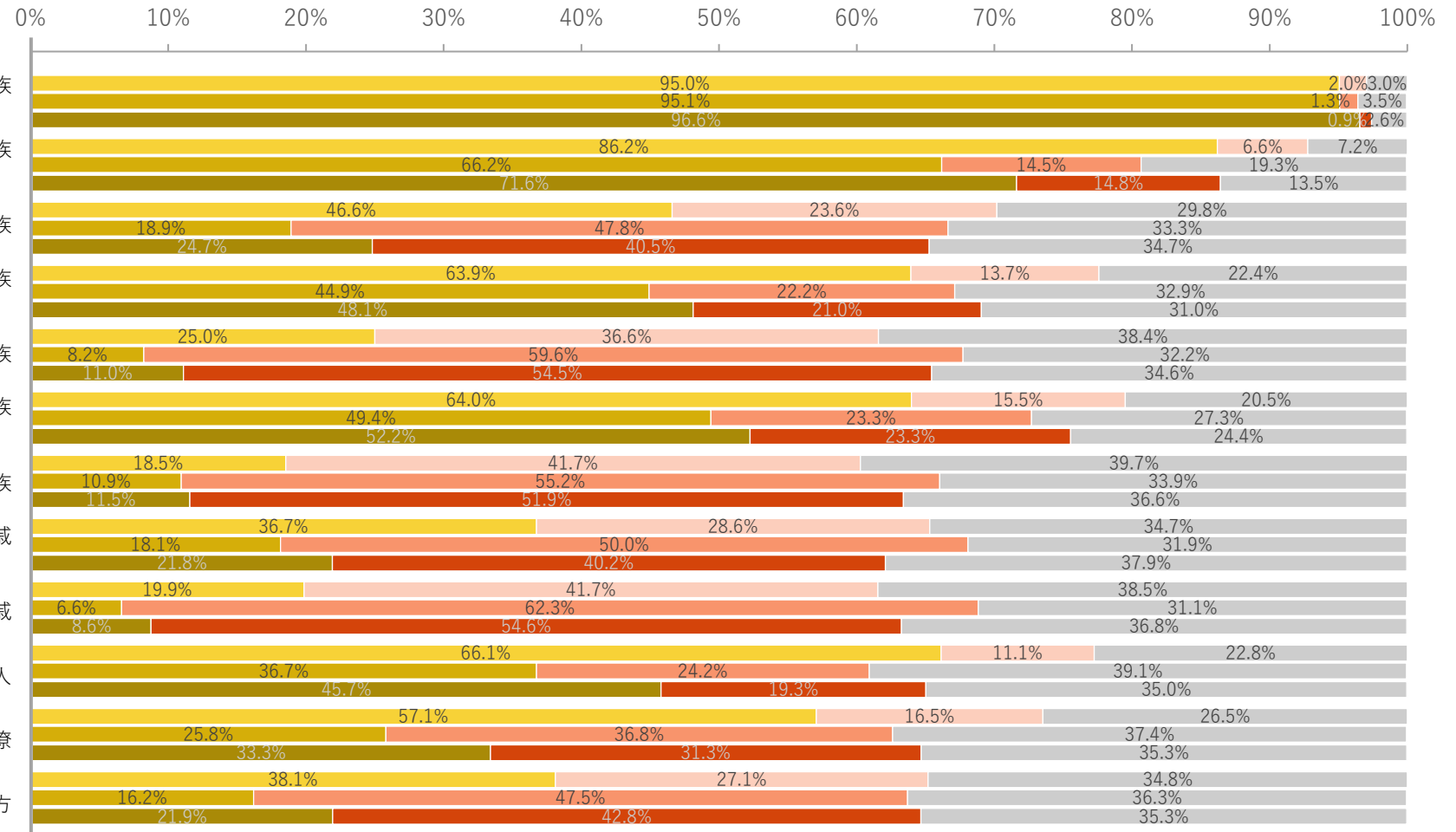
参列に対する意識変化

40代 (n=240, 「該当なし」除く)



参列に対する意識変化

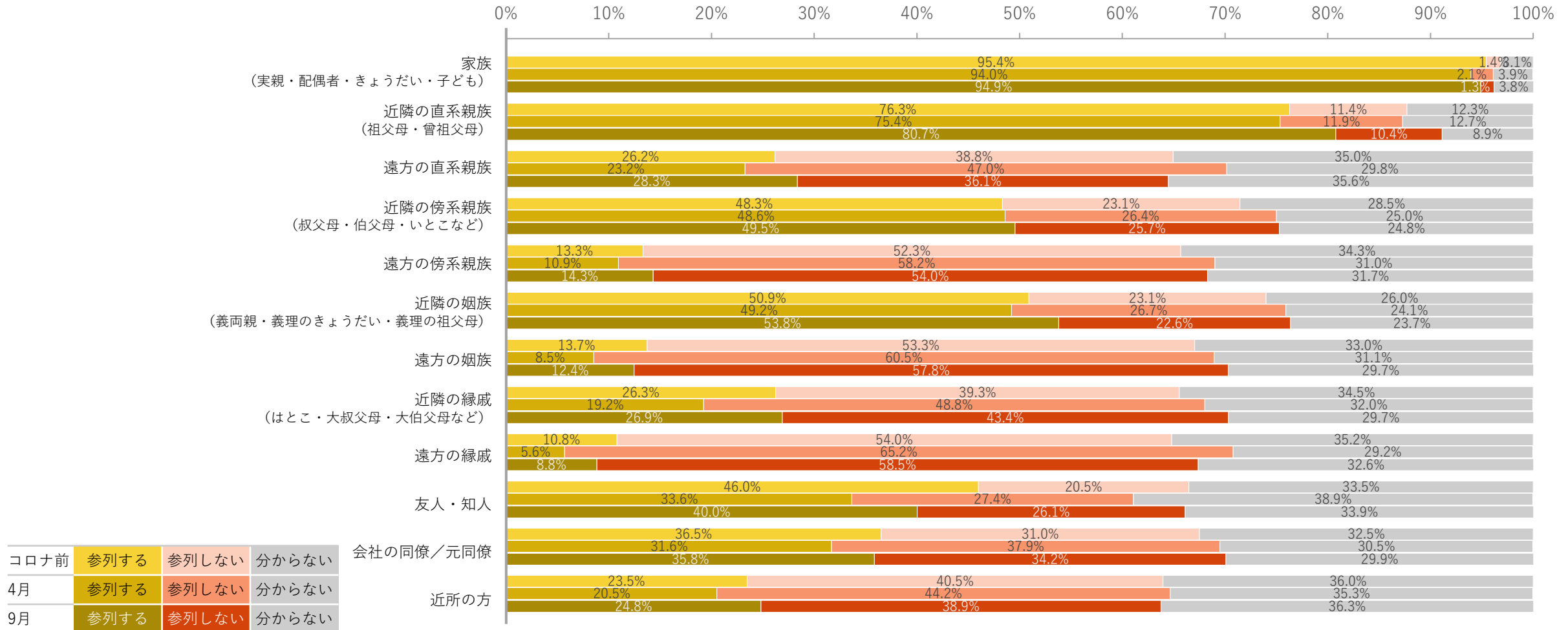
50代 (n=241, 「該当なし」除く)



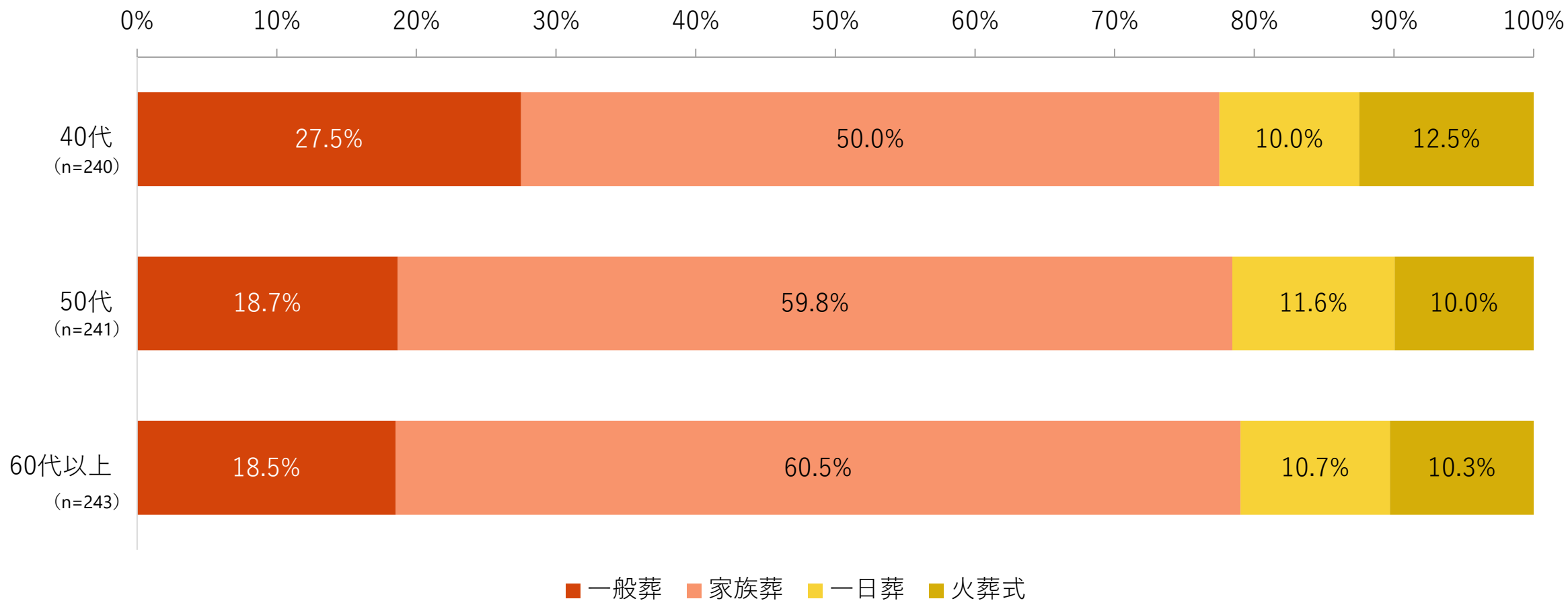
コロナ前	参加する	参加しない	分からない
4月	33.3%	31.3%	35.3%
9月	21.9%	42.8%	35.3%

参列に対する意識変化

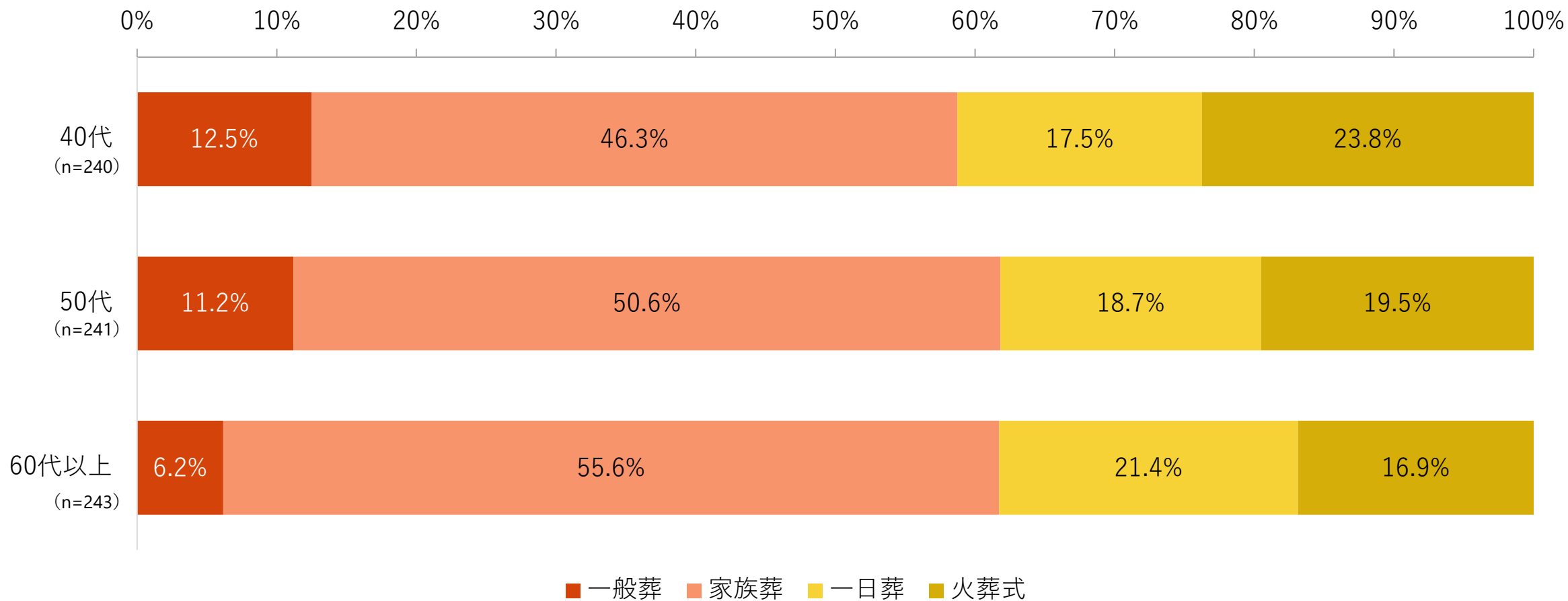
60代 (n=243, 「該当なし」除く)



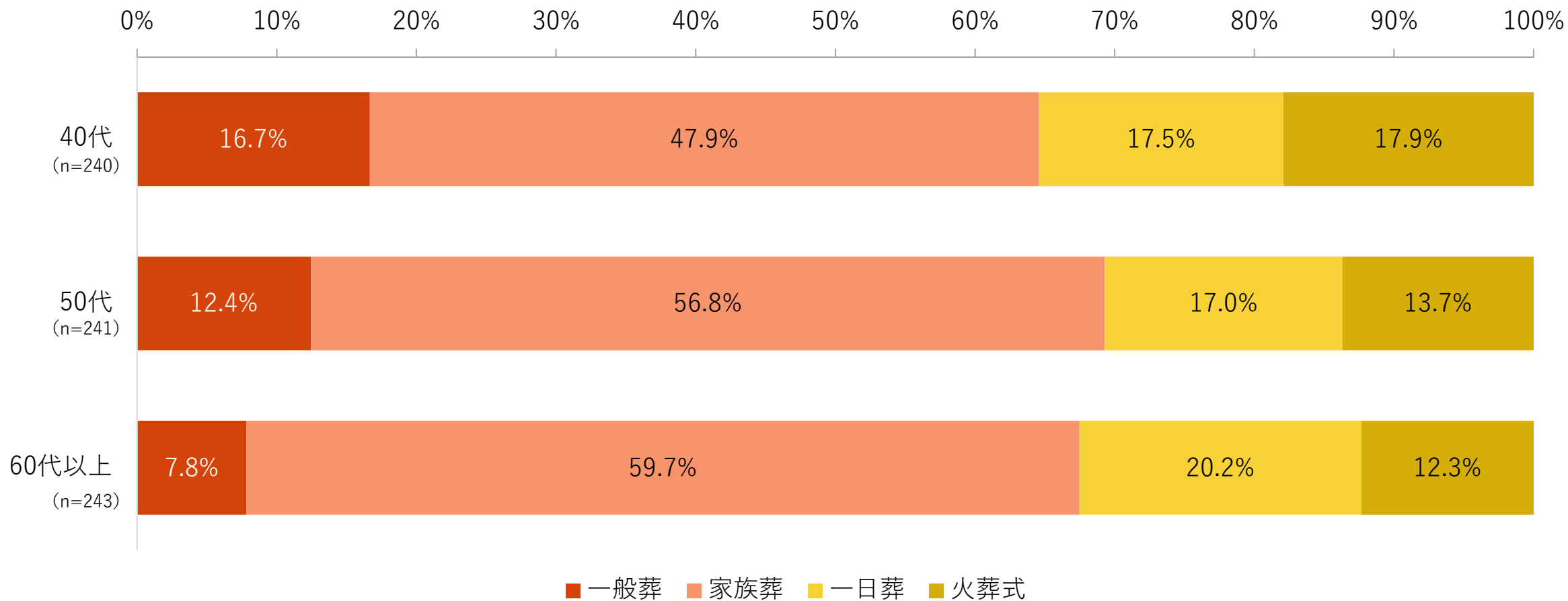
葬儀の意向_コロナ前



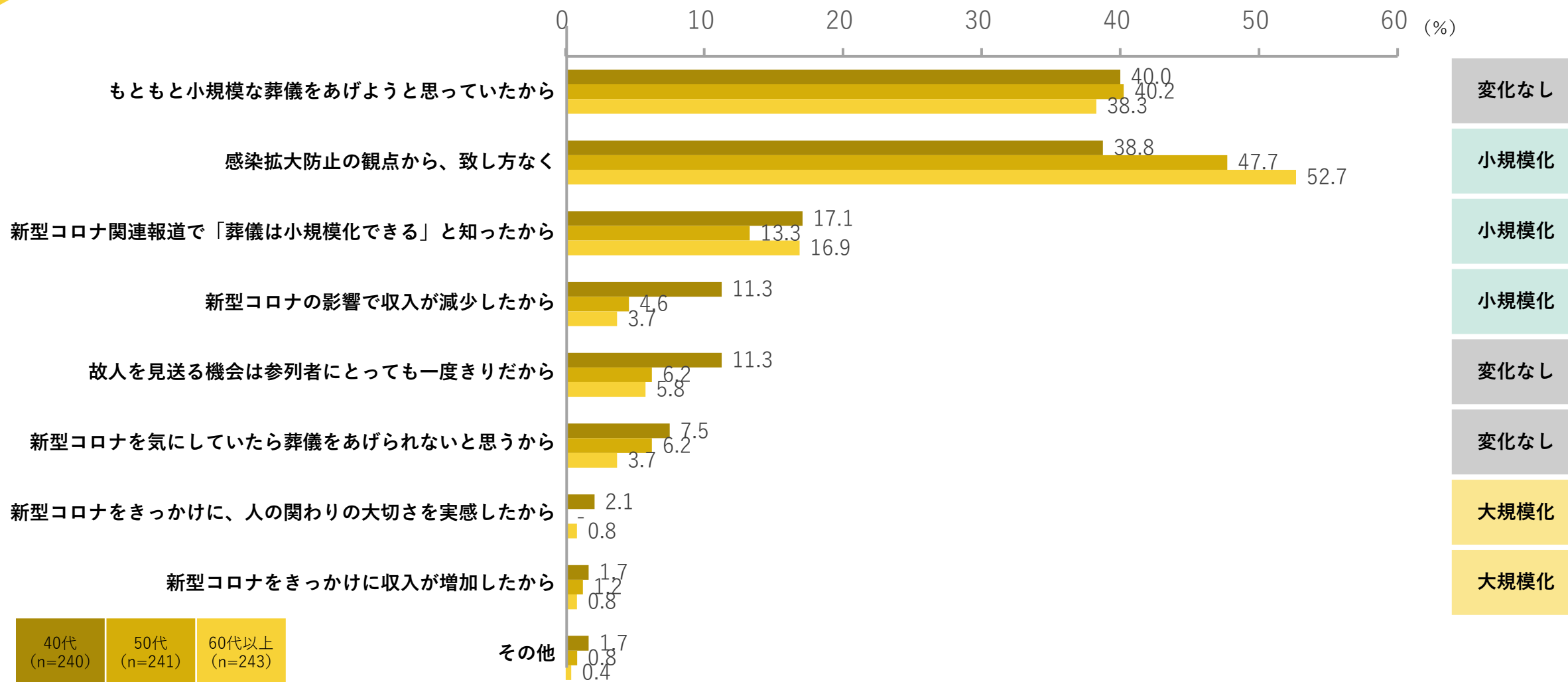
葬儀の意向_4月



葬儀の意向_9月

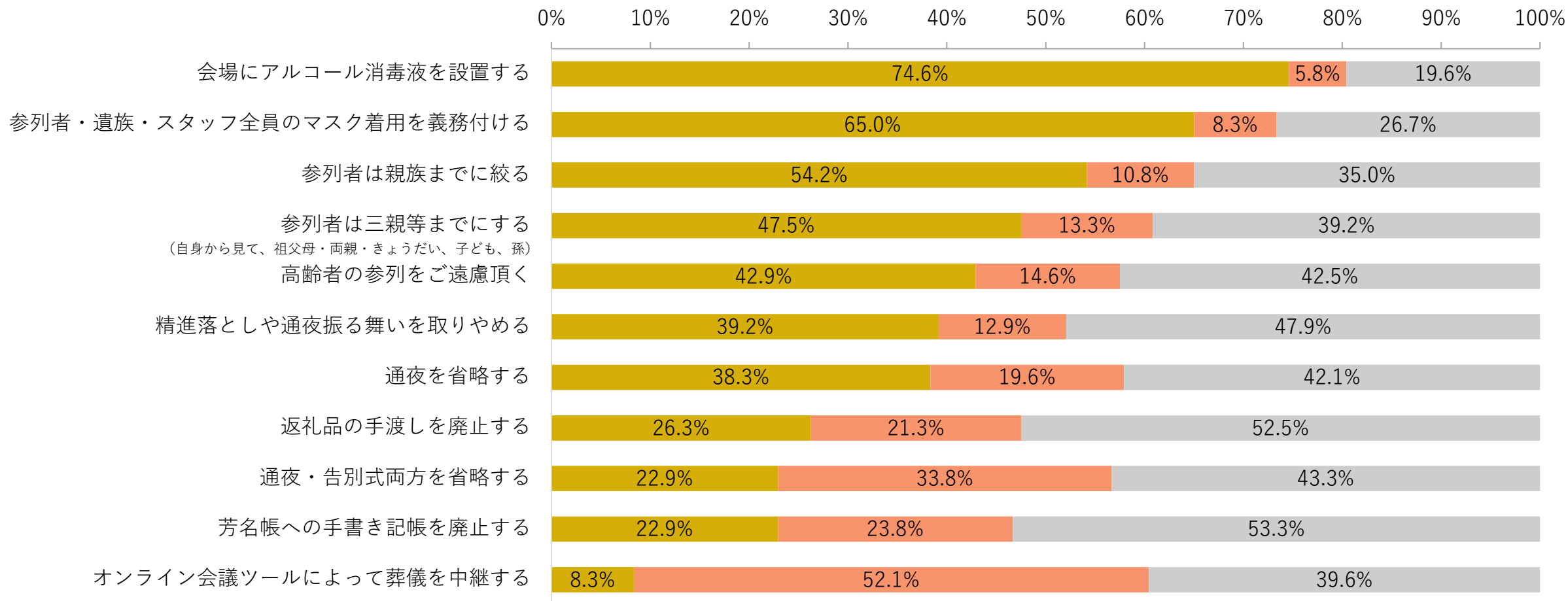


葬儀形式の意向変化



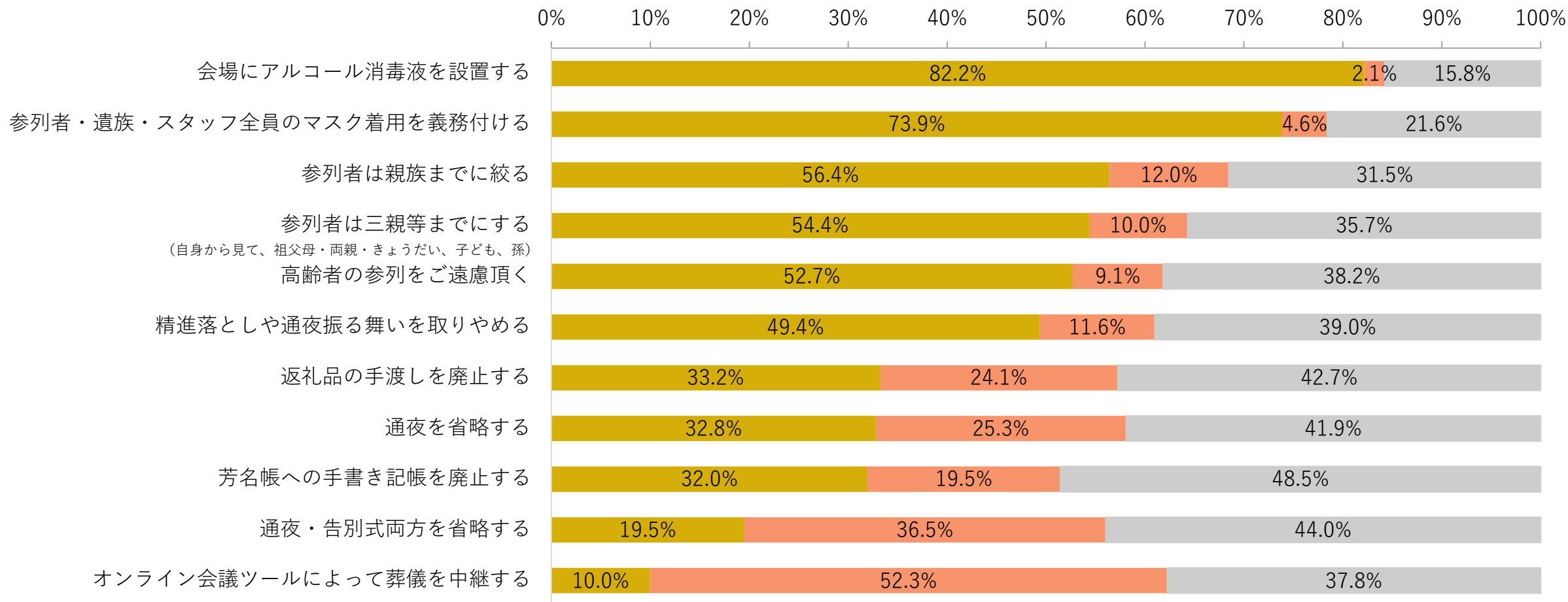
葬儀をあげる際の感染対策で実施すること_40代 (n=240)

よりそ



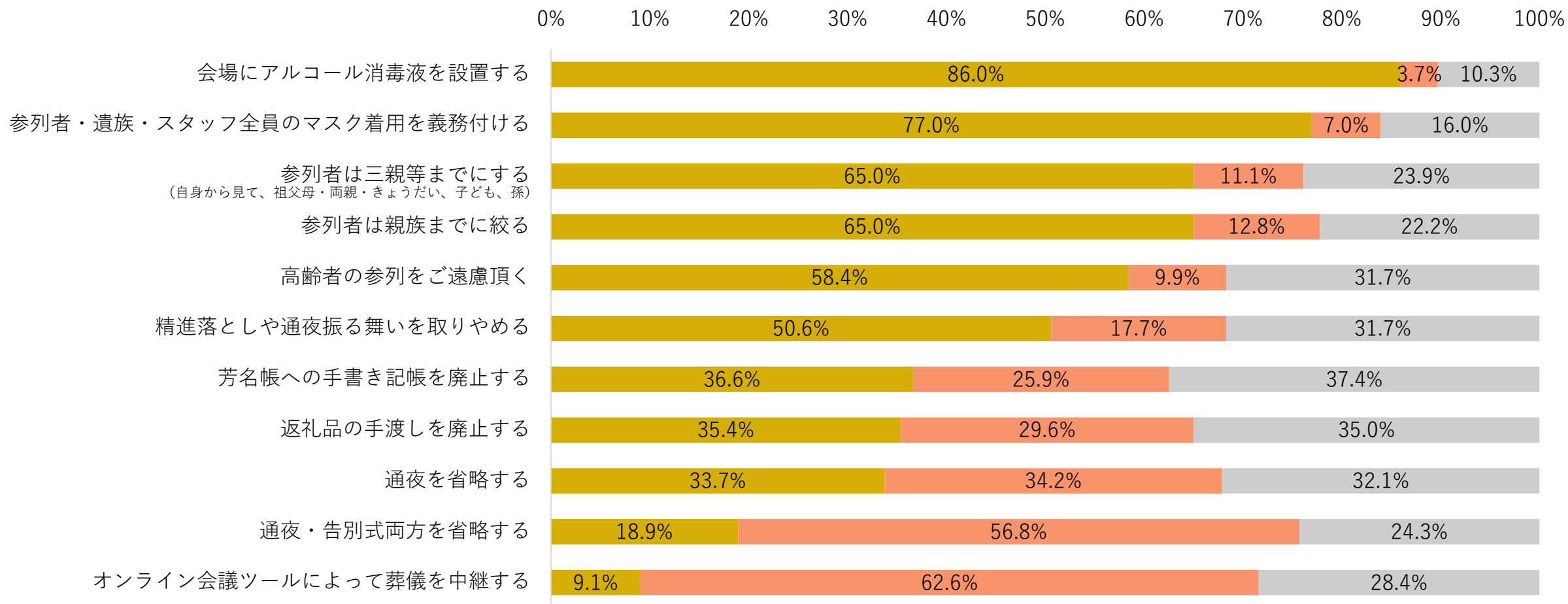
葬儀をあげる際の感染対策で実施すること_50代 (n=241)

よりそ



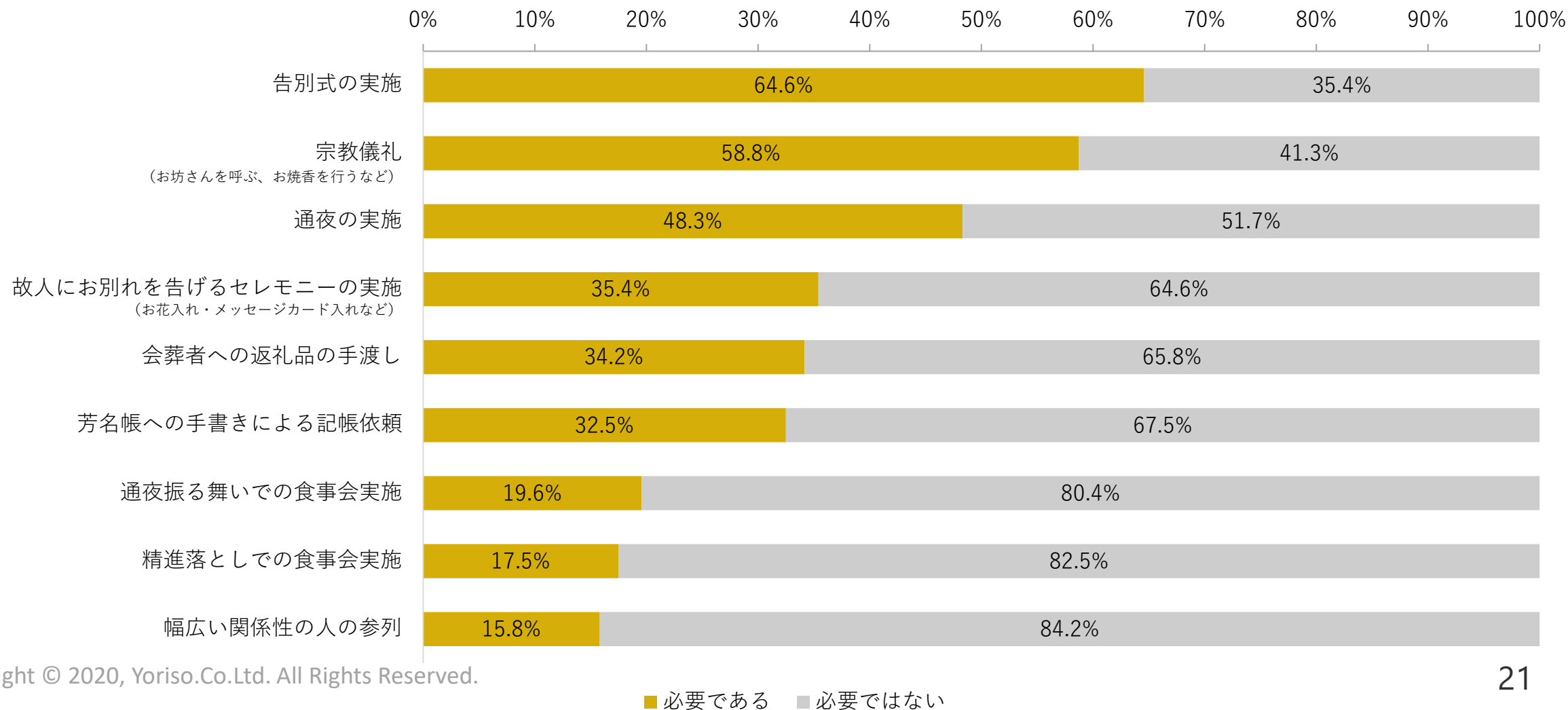
葬儀をあげる際の感染対策で実施すること_60代 (n=243)

よりそ



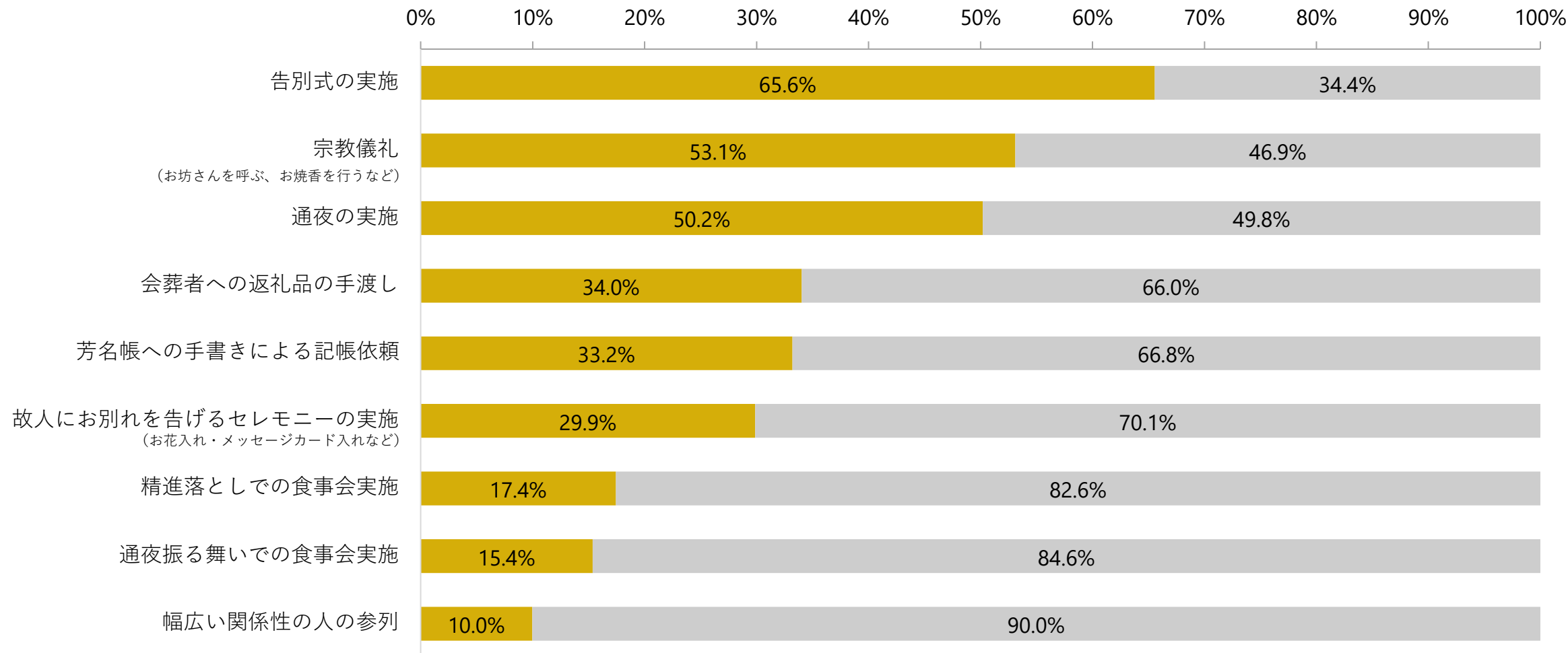
コロナの感染可能性を考慮しても 必要不可欠なもの_40代 (n=240)

よりそう



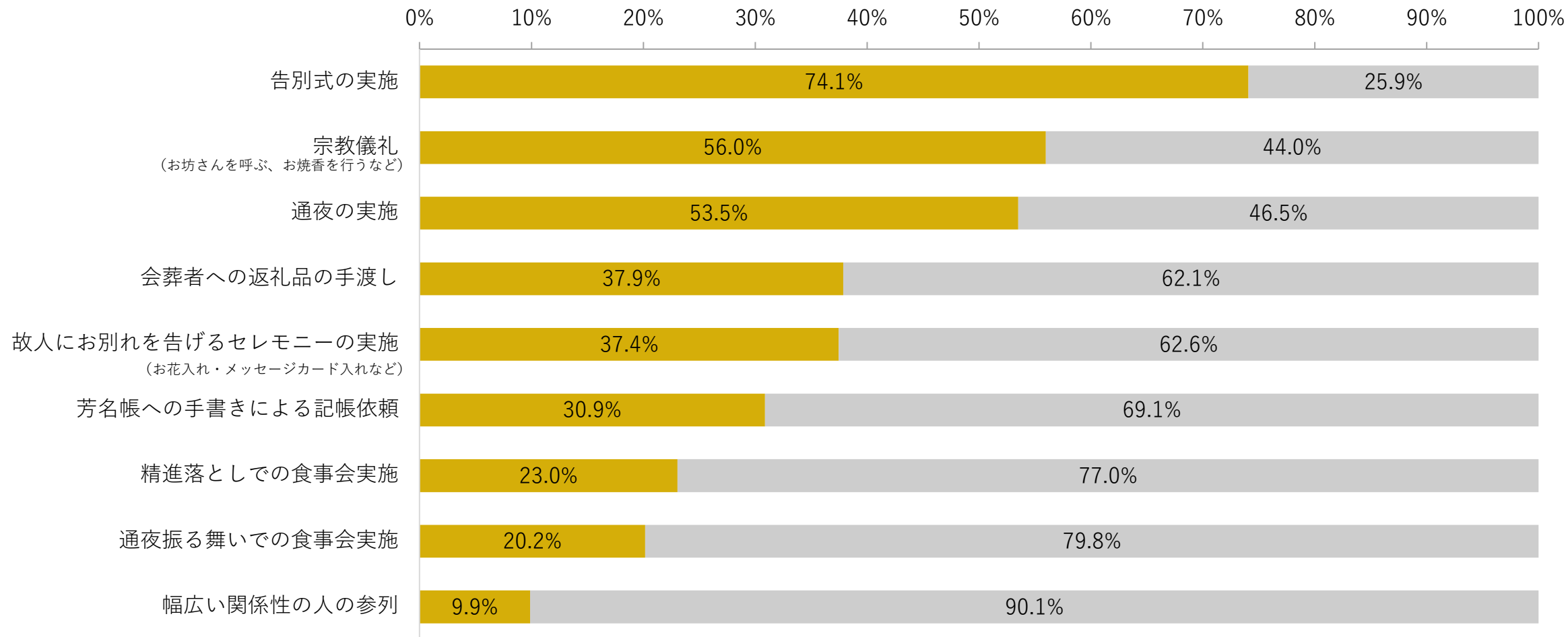
コロナの感染可能性を考慮しても 必要不可欠なもの_50代 (n=241)

よりそう



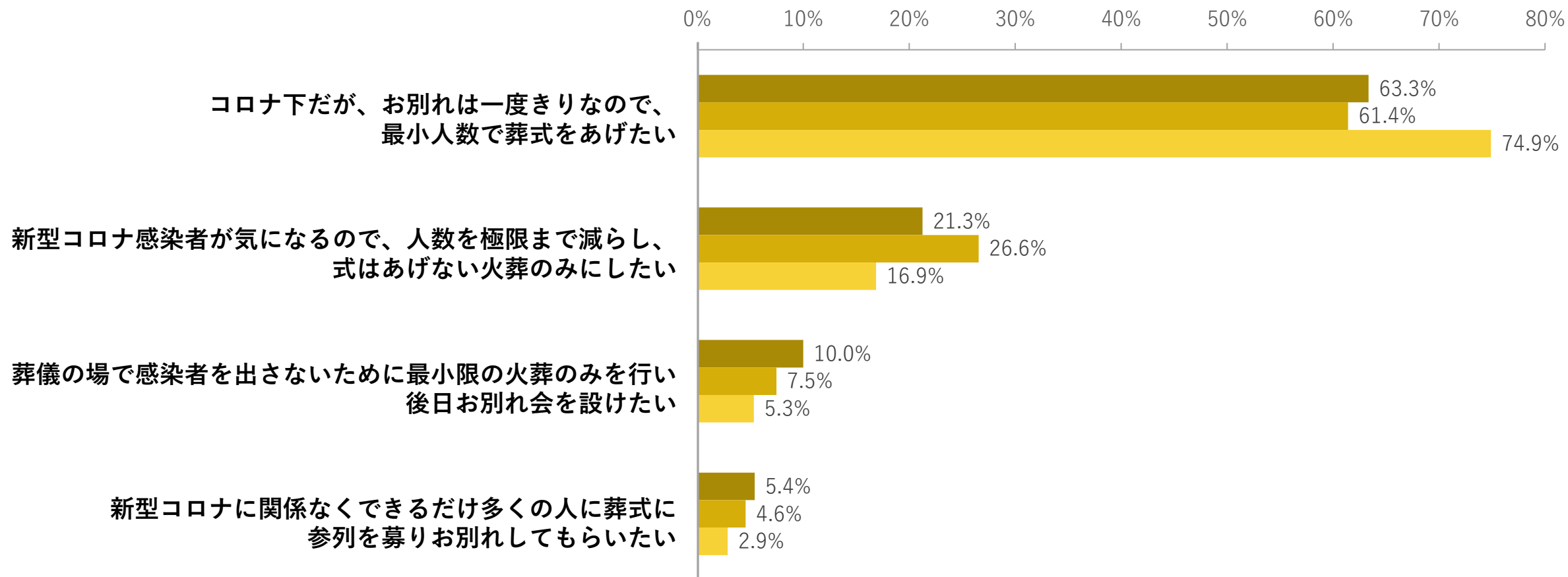
コロナの感染可能性を考慮しても 必要不可欠なもの_60代 (n=243)

よりそう



葬儀への考えに近いもの

よりそう



よりそう

よりよい選択、理想の旅立ち。